

特別賞(デザイン賞)

岡山駅西口広場整備事業

(表彰対象者：岡山市建設局土木部建設課)

表彰の理由

瀬戸大橋、山陽自動車道の開通、新岡山空港の開港等により、交通量の増大するなかで、交通拠点として駅前広場を再整備したものであるが、整備にあたっては、地元の備前焼をアレンジしたレンガブロックを使用したり、名産マスカットをモチーフにした街路灯、更には広場内にカラクリ時計を設けるなど、優れたデザイン性が評価された。

事業のあらまし

この事業は、交通・輸送の重要拠点であるJR岡山駅西口広場を再整備したものである。広場はバス用に5バス、タクシープール用に16バス、一般車用に10バス、乗降客用に各2バスを設けたほか、広場内に地下駐輪場を設けて放置自転車を追放した。また、メルヘン広場にカラクリ時計を設けるなど、駅前広場にふさわしい整備がなされている。

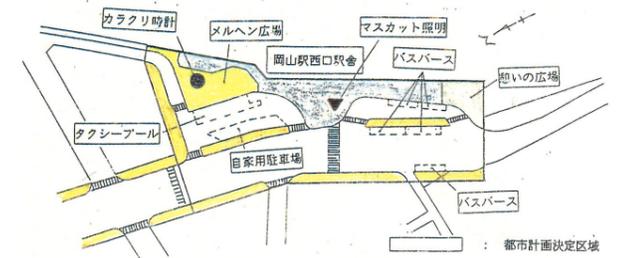
- 広場面積：7,300㎡
- 事業費：159百万円
- 事業実施期間：昭和62年7月～昭和63年3月



岡山駅の玄関口にふさわしい魅力あふれる駅前広場として再生した。



各種の修景施設のデザインや色彩には細かな配慮がなされていて広場全体を明るくしている。



駅前広場の地下は、2,350台収容を誇る駐輪場が設けられている。



市政100周年記念事業の一環として、駅舎北側のメルヘン広場に設けられたカラクリ時計。一時間おきに16本のキャラクターが登場し、人々の目を楽しませてくれる。



整備前の西口広場。昭和37年に暫定整備を行ったままの状態であり、鉄道輸送の高速化、駅へのアクセス手段の変化により広場機能が著しく低下していた。

事業遂行上の工夫

周辺の商店街の活性化を図り、若者が集い語り合える場を提供するため、東口とは違った色調と個性的なデザインを施し、ビルの上からの眺めも立体感を味わえるように工夫している。また歩道の部分沈下を防ぐため路材を全て横面でロックし、歩行者や交通弱者への安全性も考慮している。